

多重債務相談・各部署とのネットワーク体制構築

市民生活

大阪府 東大阪府
滋賀県 野洲市
三重県 四日市市



▲中小企業支援施策について視察（東大阪役所）

東大阪府は、全国有数の中小企業の集積地であり、支援施策としては、高付加価値の製品開発に対する支援、あるいは、大手メーカー等に参加を要請し、モノづくり商談会ということで、そのメーカーの発注案件を提示してもらい、中小製造業者がブ

ースを回って商談を成立させるといふ販路拡大・開拓を支援する事業等を行っています。野洲市における多重債務相談の取り組みの特徴は、各部署とのネットワーク体制を構築し、市民からの相談をたらい回しにしない、ワンストップサービスを心がけていること。また、市民と接する各担当窓口で借金の情報をキャッチしたならば、消費生活相談員がコ

ーディネーターになり、各担当と協力・連携して生活再建に向け、必要な支援を選択し、情報提供するとともに、相談者本人だけでなく、家族単位で債務整理や行政サービスの支援を検討していくということでもあります。四日市市においては、環境学習センターを視察してまいりました。

に、その分野に精通した人材がおり、そうした人材の必要性と育成を感じてきました。また、東大阪府では、販路開拓の商談会を開催したり、野洲市では、生活を再建するということが取り進むなど、行政が目に見える形で具体的に役立つという面が色濃く、今後の参考とすべきと、一同感じてきました。

※PFI=公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。

常任委員会

議会では、毎年、各常任委員以下は、6月定例会初日に報

告が先進地を視察し、市政の参考となる諸施策の報告を行っています。告された、委員長報告の概要です。

行政視察レポート

熊本市では総合保健福祉センターの設置をPFI方式としました。複数の企業がコンソーシアム（組合）した企業と契約することで、各企業が協力し合い、効率よく効果的な維持管理運営が行えます。従来の方式より約15億円もコスト削減が図ら

健康福祉 コスト減!!PFI方式による 総合保健福祉センター

熊本市 熊本市
福岡県 志免町
北九州市

れ、運営費は業務内容を半年ごとにモニタリングし、状況に応じて経費を支払うことで、サービスの低下を防いでいます。志免町は、「子どもの権利条約」をもとに、子どもの権利を総合的に保障しようとする「子どもの権利条例」を平成19年

4月に施行しました。子どもの最善の利益を第一に、子どもの権利を保障することで、いじめ、虐待から子どもを地域ぐるみで守る内容となっております。北九州市では、「住民との協働による新しい地域福祉システム」の構築により、保健・医療・福祉の一体的な総合保健福祉センター（アシスト21）が設立されました。施設内には北九州市独自の福祉用具等を開発・展示する「福祉用具プラ

熊本市では、限りの市の財政を有効に活用するために、PFI方式が導入されています。コスト削減を図りつつ、市民サービスの充実が図られた内容となっており、市の状況にあわせて、細



▲PFI方式について視察（熊本市役所）

部にわたり検討されていると感じました。

協働と参画による消防体制づくり

総務

島根県 笠岡市
岡山県 倉敷市
兵庫県 神戸市



▲重要度・満足度調査について視察（笠岡市役所）

島根県では、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に則って提案された「総合評価一般競争入札方式」を導入しました。この制度の意義としては、入札参加者に技術提案を求め、技術力と価格を総合的に評価して落札者を決定することにより、品質確保、性能向上、

長寿命化、将来の維持管理費の低減、あるいは環境対策などにおいて、住民、利用者に利益がもたらされることにあります。笠岡市では、市民ニーズを把握し、その調査の分析結果を、次年度以降の予算編成や中長期的な施策への反映、行政評価で設定する指標の検証などに活用するため、「重要度・満足度調査」を実施しました。同調査の分析には、居住地域ごとや定

住意向ごとの重要度・満足度などさまざまな切り口でなされてきました。神戸市では、震災から10年の総括・検証と、社会経済情勢の変化、神戸市を取り巻く状況の変化などを踏まえて、「神戸2010消防基本計画」を策定しました。消防・市民・事業者が協働と参画で、「ともに目指そう値」という5年間の数値目標を掲げて、各施策レベルで検証・評価を行い、P

DC Aサイクルによる進歩管理を行うことにより、このプランをより実効性のあるものに努めているとのことでありました。

※PDCAサイクル=計画し (plan)、実行し (do)、その結果を検証したのち (check)、改善策やさらなる次の施策を講じていく (action)、という組織行動の基本概念のこと。

地域の特色を活かした景観づくり
文教・建設
宝塚市では、昭和63年に神戸市等に続き全国に先駆けて景観条例を制定しました。そして、歴史的な建築物が集合する都市景観形成地域を指定し、景観に大きな影響を与える建物等の外観・色彩に指導が可能な都市景観デザイン審査会を設置する等、自然・歴史・文化が調和した景観づくりに取り組んでいます。西宮市では現在、すべての小・中学校の給食は単独校調理場方式です。阪神大震災後の厳しい財政状況の中、経費の削減を図りながら、食中毒や食物アレルギーへの迅速・適切な対応が可能な同方式の利点を活か

児童・生徒に安全・安心な給食を提供しています。知立市では、平成17年度より全ての小・中学校で二期制を実施しています。実施後の児童・生徒へのアンケートでは、三期制と比較して学習への理解・意欲が高まっているとの結果が出ており、実施後に生まれたゆとりに基づいて各学校が独自に考えた行事を行う等、特色ある学校づくりを行っています。

意見・感想
現地視察をした宝塚市の雲雀丘花屋敷は、都市景観形成地域に指定された、大正から昭和初期の開発の閑静で緑豊かな住宅地です。山の斜面を利用した町並みは美しく、歴史的な建物が共存し、美しい景観にさらに興行きを与えているように感じまし



▲学校給食の単独校調理場方式を視察（西宮市役所）

た。本市でも、古い建物を生かした街づくりを試みたいと思いました。